

# グッドステージレポート

Good  
Stage  
投資型年金  
グッドステージ  
新変額個人年金保険

2024年3月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



東京海上日動あんしん生命

## ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

### ■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

#### ご注意

リバランス（定期的に積立金の配分を自動調整する機能）の指定割合を変更いただくには、「リバランスの設定・解除」のお手続きも必要です。

### ■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	日本株式（A）	会社受付日
	日本株式（B）	
	日本株式（D）	
債券型	世界株式（A）	会社受付日の翌営業日
	世界債券（A）	
総合型	世界バランス（A）	
金融市場型	マネー（A）	会社受付日

### ■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

#### ●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 14：59までに受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：00以降に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

（注）土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

（※）ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

#### ●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

種類	特別勘定の名称	掲載ページ
株式型	<b>日本株式(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2 □ 運用会社：フィデリティ投信 □ 資産運用関係費用(年率)*1：1.353%(税込)程度 □ 円建/残高約179.2億円	3p
株式型	<b>日本株式(B)</b> ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・バリュー株・オープンVA(底力VA) □ 運用会社：大和アセットマネジメント □ 資産運用関係費用(年率)*1：1.309%(税込)程度 □ 円建/残高約18.1億円	4p
株式型	<b>日本株式(D)</b> ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・ジャパン・オープンVA(D.J.オープンVA) □ 運用会社：大和アセットマネジメント □ 資産運用関係費用(年率)*1：1.309%(税込)程度 □ 円建/残高約3.2億円	5p
株式型	<b>世界株式(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：大和住銀／T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA □ 運用会社：三井住友DSアセットマネジメント □ 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク □ 資産運用関係費用(年率)*1：1.485%(税込)程度 □ 円建/残高約53.4億円	6p
債券型	<b>世界債券(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)*3 □ 運用会社：ブラックロック・ジャパン □ 資産運用関係費用(年率)*1：0.528%(税込)程度*3 □ 円建/残高約17.2億円	7p
総合型	<b>世界バランス(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・バランス・ファンドVA2 □ 運用会社：フィデリティ投信 □ 資産運用関係費用(年率)*1：最大年率1.35%(税込)程度 □ 円建/残高約6億円	8p
金融市場型	<b>マネー(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：マネー・オープン他 □ 運用会社：大和アセットマネジメント □ 資産運用関係費用(年率)*1：各月ごと*2に決定	9p

※残高は2024年2月末現在

\*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

\*2 各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.55(税込)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年0.99%(税込)を超える場合には、年0.99%(税込)の率とします。

\*3 2024年2月末日までに投資対象となる投資信託が変更となりました。詳細については、当資料の該当ページをご参照ください。

## ● 特別勘定について

## 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

【投資対象となる投資信託】

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2

## ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 2月28日	217.82	—
2023年 2月28日	212.58	0.05%
3月31日	218.18	2.63%
4月30日	223.20	2.30%
5月31日	230.09	3.09%
6月30日	242.28	5.30%
7月31日	242.78	0.21%
8月31日	242.53	-0.10%
9月30日	236.44	-2.51%
10月31日	228.90	-3.19%
11月30日	241.22	5.38%
12月31日	240.83	-0.16%
2024年 1月31日	254.42	5.64%
2月29日	263.42	3.54%
3ヶ月変化率		9.20%
6ヶ月変化率		8.61%
1年変化率		23.92%
3年変化率		20.93%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	216	1.5%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA2	13,935	98.5%
その他	—	—
資産合計	14,151	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	14,151	100.0%

## ● 投資対象となる投資信託について

## フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

## 運用状況

## ■ 市場別構成比 (2024.1末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.3%
東証スタンダード	2.0%
東証グロース	0.4%
その他市場	—
現金・その他	1.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

## ■ 上位5業種構成比 (2024.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	21.8%
2 化学	8.2%
3 銀行業	8.1%
4 輸送用機器	6.4%
5 機械	6.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

## ■ 組入上位10銘柄 (2024.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.8%
2 キーエンス	電気機器	3.8%
3 ソニーグループ	電気機器	3.6%
4 伊藤忠商事	卸売業	3.3%
5 東京エレクトロン	電気機器	3.2%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.0%
7 日立製作所	電気機器	2.9%
8 信越化学工業	化学	2.7%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	2.1%
10 オリエンタルランド	サービス業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 183)

## 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.2末現在)

当月の東京株式市場は、日米企業による好調な決算発表などが手掛かりとなって、半導体関連株をはじめとする主力株が力強く上昇し、日経平均株価は史上最高値を更新しました。

米国で早期の利下げ期待が後退したことなどから一進一退の推移で始まりましたが、主要企業による好決算や株主還元策の発表が続いたこと、また日銀副総裁の発言を受けてマイナス金利が解除された後も緩和的な金融環境が続くとの見方が広がり、それに伴って円安が進んだことなどを背景に、株価は騰勢を強めていきました。大手テクノロジー株の好決算を材料に株価を追い米国株と共に、日本株も半導体関連株をはじめとする主力株を牽引役として上昇する展開が続き、月半ばには日経平均株価が38,000円台を回復、その後は相場過熱感が意識されて伸び悩んだものの、人工知能 (AI) 向け半導体大手から好決算が発表されると急伸し、22日に日経平均株価は1989年12月に付けた過去最高値を突破して初めて39,000円台に到達しました。その後の株価推移は緩やかとなりましたが、日経平均株価は39,000円台を維持したまま月を終えました。

月間の騰落率は、TOPIX (配当込) が+4.93%、日経平均株価は+7.94%でした。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式 (B)

(2024年2月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の上場株式および店頭登録株式の中から、取得時にPERおよびPBR等の指標または株価水準からみて割安と判断され、今後株価の上昇が期待される銘柄に投資します。

【投資対象となる投資信託】

ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA)

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 2月28日	145.59	-
2023年 2月28日	165.86	1.48%
3月31日	166.30	0.27%
4月30日	169.74	2.07%
5月31日	176.87	4.20%
6月30日	191.65	8.36%
7月31日	195.08	1.79%
8月31日	198.90	1.96%
9月30日	201.54	1.33%
10月31日	194.45	-3.52%
11月30日	203.31	4.56%
12月31日	202.13	-0.58%
2024年 1月31日	217.52	7.61%
2月29日	229.86	5.67%
3ヶ月変化率		13.06%
6ヶ月変化率		15.56%
1年変化率		38.59%
3年変化率		57.88%

\*ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

\*前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	63	3.4%
有価証券等		
ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA)	1,810	96.6%
その他	-	-
資産合計	1,873	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,873	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX

### 運用状況

#### ■資産構成比率 (2024.2末現在)

資産	構成比
国内株式	97.2%
国内株式先物	0.8%
国内合計	98.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2024.2末現在)

業種	構成比
1 電気機器	13.1%
2 機械	9.5%
3 輸送用機器	9.1%
4 銀行業	8.6%
5 卸売業	8.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.2末現在)

銘柄名	構成比
1 トヨタ自動車	5.7%
2 日立	4.5%
3 東京海上HD	4.0%
4 三菱UFJフィナンシャルG	4.0%
5 三菱商事	3.7%
6 三菱重工	3.6%
7 小松製作所	2.8%
8 日本電信電話	2.7%
9 三井住友フィナンシャルG	2.5%
10 住友電工	2.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 107)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.2末現在)

<株式市況> 国内株式市場は上昇し、日経平均株価は1989年に記録した史上最高値を更新しました。上旬から中旬にかけてはトヨタ自動車や東京エレクトロンなどの良好な企業決算が好感されました。また、為替が円安となり昨年11月以来の1米ドル150円台に乗せたことも相場上昇に寄りました。下旬に米半導体大手エヌビディアの予想を大きく上回る決算が発表されると、国内株式市場でも半導体関連を中心に株価は一段と上昇しました。

<運用経過> 既存事業の構造改革や成長事業の動向、新年度以降の業績見通しに注目して銘柄を入れ替えました。また、自己株式の取得や配当増額など株主還元を通じて資本効率の改善が期待される銘柄に注目しました。具体的には、米国の堅調な設備投資需要による業績成長に加えて、より安定した収益構造へ転換が進む建機関連株や、海外事業の損失計上など悪材料を株価に織り込んだ一方で、本業の堅調な業績を背景に株主還元政策の拡充が期待される保険関連株などのウェイトを引き上げました。また、生産活動の正常化によって業績回復が進んだ自動車関連株については、次期以降の業績見通しや株主還元政策の取り組みを勘案して、銘柄の入れ替えやウェイトの調整を行いません。このような売買や株価変動により、業種構成では機械、保険業、非鉄金属などの比率が上昇し、海運業、その他製品、電気機器などの比率が低下しました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としています。当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



# 日本株式 (D)

(2024年2月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の証券取引所上場株式を主要投資対象とします。ボトムアップアプローチを基本とし、各種投資指標から判断して割高と判断される銘柄を除外して投資します。

【投資対象となる投資信託】

ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 2月28日	165.16	—
2023年 2月28日	160.41	-0.39%
3月31日	165.41	3.12%
4月30日	168.11	1.63%
5月31日	177.21	5.41%
6月30日	186.86	5.45%
7月31日	188.35	0.80%
8月31日	186.40	-1.04%
9月30日	181.47	-2.64%
10月31日	174.24	-3.98%
11月30日	188.67	8.28%
12月31日	190.26	0.84%
2024年 1月31日	202.64	6.51%
2月29日	216.70	6.94%
3ヶ月変化率		14.86%
6ヶ月変化率		16.26%
1年変化率		35.09%
3年変化率		31.21%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	—	—
有価証券等		
ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)	320	98.4%
その他	8	2.5%
資産合計	328	100.9%
負債合計	2	0.9%
純資産総額	325	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX

### 運用状況

#### ■資産構成比率 (2024.2末現在)

資産	構成比
国内株式	97.3%
国内株式先物	—%
国内合計	97.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2024.2末現在)

業種	構成比
1 電気機器	24.0%
2 機械	12.1%
3 情報・通信業	11.1%
4 化学	7.8%
5 輸送用機器	6.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.2末現在)

銘柄名	構成比
1 東京エレクトロン	7.2%
2 ディスコ	5.5%
3 キーエンス	5.5%
4 デンソー	4.7%
5 ソニーグループ	4.6%
6 任天堂	4.3%
7 リクルートホールディングス	4.1%
8 信越化学	3.4%
9 東京海上HD	3.4%
10 第一三共	2.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 76)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.2末現在)

国内株式市場は上昇し、日経平均株価は1989年に記録した史上最高値を更新しました。上旬から中旬にかけてはトヨタ自動車や東京エレクトロンなどの良好な企業決算が好感されました。また、為替が円安となり昨年11月以来の1米ドル150円台に乗せたことも相場上昇に寄与しました。下旬に米半導体大手エヌビディアの予想を大きく上回る決算が発表されると、国内株式市場でも半導体関連中心に株価は一段と上昇しました。ベンチマークと比較して、業種では、食料品や陸運業のアンダーウエートなどがプラスに寄与しましたが、輸送用機器のアンダーウエートなどはマイナス要因となりました。個別銘柄では、底堅い業績動向などが好感された半導体関連銘柄や自動車部品関連銘柄などがプラスに寄与しました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界株式 (A)

(2024年2月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日  
【資産分類】外国株式  
【運用方針】  
日本を除く世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。  
【投資対象となる投資信託】  
大和住銀/T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA

### ■ユニットプライスの推移



### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	44	2.6%
有価証券等		
大和住銀/T.ロウ・プライス 外国株式ファンドVA	1,713	97.4%
その他	—	—
資産合計	1,758	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,758	100.0%

	ユニットプライス	前月比	円/ドル
2021年 2月28日	400.49	—	106.25
2023年 2月28日	387.02	1.88%	136.33
3月31日	384.30	-0.70%	133.53
4月30日	391.11	1.77%	134.13
5月31日	420.48	7.51%	139.77
6月30日	448.44	6.65%	144.99
7月31日	454.56	1.36%	140.97
8月31日	461.90	1.61%	146.20
9月30日	445.17	-3.62%	149.58
10月31日	434.04	-2.50%	149.51
11月30日	471.50	8.63%	147.07
12月31日	475.09	0.76%	141.83
2024年 1月31日	500.04	5.25%	147.55
2月29日	535.55	7.10%	150.67
3ヶ月変化率		13.58%	
6ヶ月変化率		15.94%	
1年変化率		38.37%	
3年変化率		33.72%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### 大和住銀/T.ロウ・プライス外国株式ファンドVAの基本情報

【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント  
投資顧問：ティール・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク  
【運用対象】日本を除く世界各国の株式  
【ベンチマーク】MSCIコクサイ・インデックス (円換算)

### 運用状況

#### ■地域別内訳 (2024.2末現在)

地域別	ポートフォリオ構成比
西欧	18.6%
東欧	0.0%
中東	0.0%
アフリカ	0.0%
北米	69.6%
中米	1.1%
南米	0.0%
アジア	8.5%
オセアニア	0.0%
その他	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■業種別内訳 (2024.2末現在)

セクター	構成比
エネルギー	6.5%
素材	1.3%
資本財・サービス	8.4%
一般消費財・サービス	12.6%
生活必需品	3.7%
ヘルスケア	14.0%
金融	15.7%
情報技術	28.6%
コミュニケーション・サービス	5.2%
公益事業	1.9%
不動産	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.2末現在)

銘柄	国名	業種	構成比
1 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.8%
2 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.8%
3 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	4.7%
4 ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	4.6%
5 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融	3.3%
6 SCHWAB (CHARLES) CORP	アメリカ	金融	3.3%
7 APPLE INC	アメリカ	情報技術	2.9%
8 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.8%
9 CONOCOPHILLIPS	アメリカ	エネルギー	2.5%
10 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 73)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.2末現在)

市場は複数回の利下げと好調な経済見通しに楽観的ですが、手放しの楽観には慎重であるべきと考えております。再度のインフレ加速を含む、複数の潜在的なリスクの台頭に注意を払っています。一方で、そのような環境に左右されない特異なアルファを生み出す機会が十分にあると考えております。引き続き、潜在的なリスクを考慮して慎重にポートフォリオを運用してまいります。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界債券 (A)

(2024年2月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

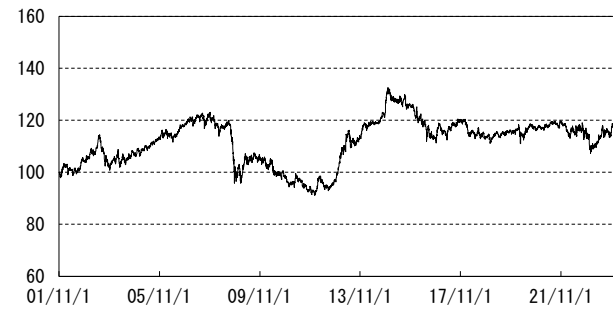
JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	7	1.2%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	594	98.8%
その他	—	—
資産合計	602	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	602	100.0%

### ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2021年 2月28日	116.20	—
2023年 2月28日	110.53	1.00%
3月31日	111.40	0.79%
4月30日	111.91	0.45%
5月31日	113.94	1.82%
6月30日	117.63	3.23%
7月31日	114.71	-2.48%
8月31日	116.87	1.88%
9月30日	114.80	-1.78%
10月31日	114.05	-0.65%
11月30日	118.14	3.58%
12月31日	118.63	0.42%
2024年 1月31日	120.08	1.22%
2月29日	121.20	0.93%

3ヶ月変化率	2.59%
6ヶ月変化率	3.70%
1年変化率	9.65%
3年変化率	4.30%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

### 運用状況

#### 国別通貨別構成比率 (2024.2末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	41.6%	51.8%	42.7%
カナダ	1.8%	2.1%	1.8%
メキシコ	0.8%	3.7%	1.2%
南アフリカ	—	—	0.0%
日本	11.2%	11.2%	11.1%
オーストラリア	1.2%	1.3%	1.3%
ニュージーランド	0.2%	—	0.1%
シンガポール	0.4%	0.5%	0.8%
中国	7.8%	7.7%	7.5%
マレーシア	0.5%	—	—
ユーロ	28.5%	32.9%	27.1%
英国	4.6%	12.6%	4.6%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.3%

#### 組入上位10銘柄 (2024.2末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	—	2024/4/4	3.3%
2 メキシコ国債	7.500	2033/5/26	2.8%
3 アメリカ国債	2.875	2032/5/15	2.6%
4 ドイツ国債	1.700	2032/8/15	2.4%
5 フランス国債	2.750	2029/2/25	1.9%
6 アメリカ国債	3.375	2033/5/15	1.9%
7 アメリカ国債	1.750	2027/3/9	1.7%
8 イタリア国債	1.250	2026/12/1	1.5%
9 ドイツ国債	—	2029/8/15	1.5%
10 日本国債	0.800	2047/3/20	1.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 280）

修正デュレーション=平均7.53年（ベンチマーク=同7.20年）

「JDFワールド・ボンド・ファンドVA」の償還により、2024年2月末日までに投資対象となる投資信託が「JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」に変更となりました。

この変更にもなう特別勘定の運用方針の変更はございません。

なお、詳細につきましては、当社ホームページに掲載の「特別勘定のしおり 追補版」をご参照ください。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



# 世界バランス (A)

(2024年2月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】バランス

【運用方針】

日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

フィデリティ・バランス・ファンドVA2

### ■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2021年 2月28日	141.87	-
2023年 2月28日	156.01	1.96%
3月31日	155.88	-0.08%
4月30日	157.28	0.90%
5月31日	161.73	2.83%
6月30日	168.24	4.02%
7月31日	167.42	-0.49%
8月31日	171.02	2.15%
9月30日	168.05	-1.74%
10月31日	163.42	-2.75%
11月30日	171.73	5.08%
12月31日	172.64	0.53%
2024年 1月31日	178.46	3.37%
2月29日	182.91	2.50%
3ヶ月変化率		6.51%
6ヶ月変化率		6.95%
1年変化率		17.25%
3年変化率		28.93%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	17	2.8%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ ファンドVA2	600	97.2%
その他	-	-
資産合計	617	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	617	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・バランス・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信

【運用対象】日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品

【ベンチマーク】複合インデックス (円ベース)

- TOPIX (配当金込) (25%)
- MSCIワールド・インデックス (除く日本/税引前配当金込) (25%)
- ブルームバーグ・グローバル総合インデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (50%)\*

\* 2023年3月1日付で複合ベンチマークの構成指数の一部が変更になりました。

### 運用状況

#### ■株式 (2024.1末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・ファンズ・アメリカン・グロース・ファンド	29.8%
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド (適格機関投資家専用)	25.1%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	6.1%
フィデリティ・インスティテュショナル・米国株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1.6%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモラー・カンパニーズ・ファンド	1.5%
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.9%
フィデリティ・ファンズ・サステナブル・アジア株式ファンド	0.3%
合計	65.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位5ヶ国・地域 (2024.1末現在)

国名	構成比
1 アメリカ	42.5%
2 日本	25.0%
3 イギリス	6.2%
4 ドイツ	5.0%
5 中国	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■債券・短期金融資産等 (2024.1末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド (除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家販売制限付き)	28.9%
D L I B J 公社債オープン (中期コース)	4.6%
合計	33.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位5通貨 (2024.1末現在)

通貨	構成比
1 アメリカ・ドル	46.3%
2 日本・円	25.0%
3 ユーロ	9.9%
4 イギリス・ポンド	5.5%
5 中国・元	1.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの増減に加えて、積立金転載費用、貸付利息等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金転載費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ● 特別勘定について

## 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】短期金融商品

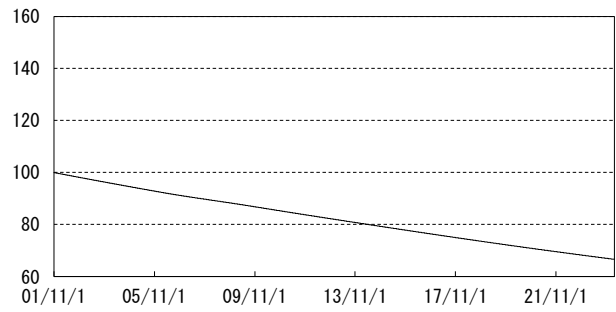
【運用方針】

円建ての短期金融商品を中心に投資します。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【投資対象となる投資信託】

マナー・オープン 他

## ■ ユニットプライスの推移



## ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	396	65.9%
有価証券等		
マナー・オープン	205	34.1%
その他	—	—
資産合計	602	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	602	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2021年 2月28日	70.44	—
2023年 2月28日	67.87	-0.14%
3月31日	67.76	-0.16%
4月30日	67.66	-0.15%
5月31日	67.55	-0.16%
6月30日	67.45	-0.16%
7月31日	67.34	-0.16%
8月31日	67.23	-0.16%
9月30日	67.13	-0.15%
10月31日	67.02	-0.16%
11月30日	66.92	-0.16%
12月31日	66.81	-0.16%
2024年 1月31日	66.71	-0.16%
2月29日	66.61	-0.15%
3ヶ月変化率		-0.46%
6ヶ月変化率		-0.92%
1年変化率		-1.85%
3年変化率		-5.44%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 投資対象となる投資信託について

## マナー・オープン 他の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】円建て短期金融商品

【ベンチマーク】特に定めなし

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.85%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

### ■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.85%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)

### ■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

#### ●保証期間付終身年金、確定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

#### ●特別勘定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

### ■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

\*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

## ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】

# 大和証券

Daiwa Securities

【引受保険会社】

## 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

ホームページ <https://www.tmn-anshin.co.jp/>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

 **0120-155-730**

受付時間 平日9:00～17:00  
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)